

# 令和6年度 上田市立東小学校 学校自己評価シート

学校目標		めざす子ども像	
よく気づき よく考え よく働き 進んで学ぶ子ども		1 自分の言葉で語り 聴き合い 自ら行動できる子ども【自己表現力】	2 自他のよさを認め ふれ合って 協働的に学ぶ子ども【社会参画力】
		3 向上心をもって ねばり強く 最後までやり抜く子ども【課題探究力】	
今年度の重点目標(重点活動)			
「子どもたちが 主人公の 幸せな学校」  「自分から」 そして「笑顔」 と「自信」	主体性の追究	○授業改善～子ども主役の授業へ～ ○子どもたちが自分で計画実行する学習 ○子どもに合わせた多様な学習スタイル	
	多様性に向き合う	○多様性を包み込む教育の推進 ○相手を受け止め 折り合いをつける力 ○「対話」と協働」と「笑顔」で多様性に体操	
	つながる 広がる学校	○「挨拶」「懇談」「情報発信」で輪を広げる ○地域・保護者との横のつながりを広げる ○一中区学校園との縦のつながりを深める	

総合評価						
成果と課題		A	B	C	D	改善策・向上策

領域	対象	評価項目	評価の観点
教育活動	主体性の追究	子どもたちに合わせた多様な学習スタイル	・ペアやグループでわからないことや互いの考えを聴き合い、自分たちの考えを深め合う学習場面を設定しているか。 ・ICTの積極的活用と実体験の両立を図れたか。 ・自分らしく学ぶことができる授業のUD化が図れたか。
		子ども主役の授業 子どもたちが自分で計画実行する学習	・自分の考えを相手にわかるように伝えるために、わかりやすい伝え方の指導をしたり、伝えようとする場面を設定したりしているか。 ・学んだ内容を書いたり、学び方を振り返ったりする時間を確保し、子どもの考えの変容や定着状況を確認しているか。
	多様性に向き合う	よさやちがいを受け入れ 認め合う	・「E～tokoメガネ」で互いのよさを捉えたり、「プラス言葉」でよさを全体に広げたりすることをしているか。 ・「寛容」の気持ちで折り合いをつける人権感覚を育てたり、子どもと向き合い思いを受け止める相談の機会を設けているか。
		「憧れや思いやり」が生まれ「笑顔のボタン」をつなぐ交流活動	・「憧れ/思いやり」が生まれるように、学年や学級の枠を越えて、つながり合う異学年交流活動の機会を設けているか。 ・「なかよしタイム」(わくわくデイ・あそびデイ)や「集会活動」を通して、みんなの「笑顔のボタン」をつなげることができたか。
	一人ひとりが輝き活動できる場づくり	・子どもたちが目標をもち、継続的に取り組んだり、新たに挑戦したりして、成長や自信に結びつく取組ができたか。 ・自ら体を動かしたり(体力づくり)、気づいて働いたり(みがきタイム)、特技を伸ばしたり(〇〇名人)できる後押しをしてあげたか。	
学校運営	つながる広がる学校	あいさつと返事で人と人の心をつなげる	・積極的な声がけや児童会との連携で、相手に伝わる気持ちのよい挨拶を自覚させ、快適な学校生活に向けて取り組んでいるか。 ・「はい」で反応するつながりのよさを実感させる雰囲気作りを進んでいるか。
		地域学習とキャリア教育で地域とつなげる	・生活科、社会科、総合的な学習等で地域学習を位置付けて、地域の人、もの、ことと関わり合える授業づくりができたか。 ・地域の名人、達人を授業に招き、地域のよさ、人のすばらしさを学んだり、自分の生き方を考えたりする機会となったか。
	共に学校を拓き信頼関係をつなげる	・学校、学年、学級だよりや学校ホームページ、オクレンジャーでのメール送信等を通して、学校での子どもたちの学びの様子や家庭連絡を保護者や地域に発信することができたか。またうれしかったことや心配なことなど個別に連絡を取ったりすることができたか。	
	教職員団体の姿勢	教職員集団を学びと成長へとつなげる	・温かな眼差しで、子どもの変容をゆつくりと待ち、子どもと共に学び、共に成長することができているか。 ・何事も新しい発想で、前向きに、一歩でも前進しようとして挑戦を試みようとしているか。
あらゆる垣根を越えてチームによる支援体制へとつなげる		・子どもたちを常に複数の眼差しで見守り、多面的多角的な捉えで児童理解を深め、よさや可能性を引き出すようにしているか。 ・自分を学級を学年を拓き、喜びや達成感を分かち合い、つながり合いながらチームで支援できるようにしているか。	

成果と課題		A	B	C	D	改善策・向上策

※評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった